

2010.1.13 「小沢・石川議員を逮捕せよ」

参議院議員の西田昌司です。

いよいよ、1月18日から国会が召集される運びとなりました。今回の国会でも私は引き続き鳩山総理の偽装献金問題、そしてお母さんから貰ったという巨額の脱税問題。さらに小沢幹事長の陸山会の虚偽記載、そして原資の不明な何億ものお金による不動産購入。こうした問題について徹底的に追及していく覚悟でございます。

特に、小沢さんや鳩山総理に対して捜査当局は何か及びであるような気がしてなりません。かつて、自民党の坂井隆憲代議士は平成19年に自らの政治資金報告で虚偽の記載をしたという事案で検察は逮捕請求をして、そして自民党もこれを認め逮捕がされ議員辞職をされています。自民党の議員には逮捕・捜査が及ぶけれども、民主党の議員には逮捕しないどころか捜査も及ばない。鳩山総理にいたしましても検察が直接事情聴取をしていない。さらに小沢さんも検察の事情聴取に対して、これを忙しいからの理由で拒否をしています。こういう事がまかり通るならば、日本は法治国家とはいえない。法の下での平等性というのが全く無くなってしまっているということです。

今、民主党がしている政策は一体何でしょう。選挙前にはマニフェストで「ガソリン税は暫定税率を無くして安くします」「高速道路も無料にします」、我々はそんな事はできないのではないかと、ということは何度も言ってまいりました。けれども「自分達が政権を取れば無駄を無くしてできる」ということを言い張っていましたが実際には予算作成したときに「財源がないからできません」ということを平然とやってのける。そしてマニフェストには一切書いていなかったけれども民主党に政権ができると、外国人に地方参政権を与えるというとんでもない売国的な法案が出される、という懸念を選挙中から訴えてきました。ところが選挙中彼らは一切こういうことには口を噤みマニフェストにも載せてこなかった。ところが次の国会には「永住外国人には地方参政権を与えるという法案を出す」と小沢さんは言い切っています。もし、この法案が通ればまさに日本人固有の権利、主権が外国人に奪われてしまう、というとんでもないことになります。

我々は断じて許しません。民主党政治というのは、結局言っていることとやっていることが全くでたらめである。このことをしっかり国民に訴えて私たちは政権奪還するために全力で立ち向かってまいります。

今後とも皆様方の御支援心より御願い申し上げます。